

会場内は厳肅な雰囲気



子どもたちの笑顔あふれる場所に 須賀小で屋内運動場起工式

須賀小で6月23日、関係者約100人が出席して、同校屋内運動場改築工事の起工式が行われました。式典の中で太田市長は「子どもたちの笑顔があふれる場所になってほしい」とあいさつ。この新しい屋内運動場は鉄筋コンクリート2階建て、延床面積949.72㎡で、来年2月末に完成予定です。

みんなで楽しく社会の学習

平和小児童が市内施設を見学

平和小4年生の児童16人が6月16日、匝瑳市ほか二町環境衛生組合と八咫水道企業団を見学しました。児童たちは、両施設職員の説明を真剣な表情で聞きながら、大事な部分をノートにしっかりと記録。不明点などを熱心に質問していました。



熱心にメモをとる児童たち

千葉県警察音楽隊の皆さんによる演奏



八日市場一中で講演会 社会を明るくする運動

八日市場一中で7月5日、社会を明るくする運動強調月間にちなみ、千葉県警少年補導員の方を講師に招いての薬物乱用防止教室と、千葉県警察音楽隊による演奏が行われました。音楽隊の演奏では、同校の校歌など生徒たちにとっておなじみの曲が多く聞かれ、その美しい音色に耳を傾けていました。

スポーツの楽しさ伝える 宮澤ミシェルさんが講演

八日市場一中で7月1日、サッカー解説者の宮澤ミシェルさんを講師に招き、「スポーツの楽しさ」と題した講話と実技指導が行われました。前半の講話では、宮澤さんの中学校時代の経験談が語られ、生徒たちに夢に向かって挑戦することを伝えました。後半の実技指導では1年生の男女に、反射神経を試す遊びやサッカーボールを使って体を動かす運動が行われました。



宮澤さんの熱心な実技指導

新1年生に笛を寄贈

ドナルドが共興小で防犯教室

日本マクドナルド(株)から今年4月、県内小学校の新1年生全員に防犯笛が贈呈されました。また、6月20日には同社のキャラクター「ドナルド」が共興小に登場し、防犯教室が開かれました。教室後半は先生が犯人役を演じるロールプレイ。声をかけられた児童たちは「あなたのことは知りません!」とドナルドのアドバイス通りにしっかりと受け答えをしていました。



犯人役の先生(左)の誘いをお断り

秋の完成を楽しみに

匝瑳小で縄文土器作り

匝瑳小で7月4日から6日にかけて、同校6年生が縄文土器作りを体験しました。児童たちは、市生涯学習課職員の指導を受けながら、粘土で個性的な形の器を作成。さらにその上から貝殻などを使って模様をつけました。

これらの土器は10月中旬まで乾燥させた後、野焼きをし、完成する予定です。



職員の説明を真剣に聞く児童たち

災害時の地域ボランティア

共興地区を守る会が発足

第3回共興地区を守る会の会合が7月8日に共興地区コミュニティセンターで開催され、東日本大震災の時に避難所での支援活動の経験を生かし、災害時の独居老人の避難方法や避難所での支援活動について話し合いました。伊藤清会長は、「共興地区は旭市の隣、同じことが起こる可能性もある。地震、津波などの対応別のマニュアルをつくり、地域の安全を図りたい」と語りました。



地域の安全について議論が続く

シートベルトの大切さを知ろう

敬愛大学八日市場高校で交通安全教室

敬愛大学八日市場高校で6月27日、自動車免許取得を直前に控えた同校3年生にシートベルトの大切さを知らせてもらおうと、匝瑳警察署の呼びかけで交通安全教室が開催されました。

生徒たちは、シートベルトコンビンサーを使って時速5kmで衝突したときの衝撃を体験。その大きさに驚きの表情を見せ、シートベルトの重要性を再確認していました。



衝撃の大きさにびっくり!